

安芸高田市内中学校施設の現状と課題

1. 中学校施設の現状

	吉田中学校	八千代中学校	美土里中学校	高宮中学校	甲田中学校	向原中学校	
校舎	建築年月	昭和44年5月	昭和54年7月	昭和48年3月	昭和63年3月	昭和47年3月	昭和42年3月
	構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
	耐震基準	旧耐震基準	旧耐震基準	旧耐震基準	新耐震基準	旧耐震基準	旧耐震基準
	耐震改修年度	平成22年度工事完了	—（改修不要）	平成13年度工事完了	—	平成24年度工事完了	平成22年度工事完了
	校舎面積	4,253㎡	2,114㎡	2,483㎡	2,580㎡	3,801㎡	2,596㎡
	普通教室面積	64.8㎡	63.0㎡	63.0㎡	60.0㎡	56.27㎡	62.13㎡

※教室棟・技術室棟・特別教室棟・階段棟などの建物

体育館	建築年月	昭和46年3月	昭和55年6月	昭和50年1月	昭和63年3月	昭和48年3月	昭和54年2月
	構造	鉄筋その他造	鉄筋コンクリート造	鉄筋その他造	鉄筋コンクリート造	鉄筋その他造	鉄筋コンクリート造
	耐震基準	旧耐震基準	旧耐震基準	旧耐震基準	新耐震基準	旧耐震基準	旧耐震基準
	耐震改修年度	平成23年度工事完了	平成24年度工事完了	平成13年度工事完了	—	平成22年度工事完了	平成24年度工事完了
	体育館面積	1,380㎡	1,378㎡	754㎡	852㎡	1,277㎡	797㎡

武道館	建築年月	昭和53年3月		昭和61年3月		昭和48年3月	昭和54年2月
	構造	鉄筋その他造		鉄筋その他造		鉄筋その他造	鉄筋その他造
	耐震基準	旧耐震基準	B&Gの施設を利用	新耐震基準	B&Gの施設を利用	旧耐震基準	旧耐震基準
	耐震改修年度	平成25年度工事完了		—		平成25年度工事完了	平成25年度工事完了
	体育館面積	579㎡		588㎡		567㎡	363㎡

2. 現状の中学校施設の課題

課題項目	内容
現6中学校施設の現状	昭和42～63年に建築された施設で、古いものだと築50年を超えた施設もあり、老朽化が進んでいます。
現6中学校設備の現状	【教室】 広さ56～65㎡で、40人学級では狭小です。 【机の規格】 規格基準が古く、机が小さいため、1人1台端末、教科書、ノート等を広げて置くことが難しいときもあります。 【換気機能】 新型コロナウイルス感染症対策として窓を開けての授業を行っていますが、教室の構造などにより、換気に苦慮しています。
耐震化している校舎を統合中学校での利用	耐震化している校舎の利用は当面は可能ですが、今後20年間の利用を見込む場合には、築70年を超える施設もあり、さらなる長寿命化工事が必要となります。
現中学校敷地での建て替え	現中学校敷地に新たな中学校施設を建築する場合には、いずれの中学校においても、在学する生徒の学習環境を保障するため、仮設校舎の建築が必要となります。また、工事により生徒の安全への配慮が必要となり、部活動や屋外での授業など制限される場合があります。

3. 参考

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実等に向け、新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方及び推進方策について、文部科学省は令和4年3月に「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」について最終報告書を公表しました。

文部科学省ホームページアドレス

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/044/toushin/1414523_00004.htm

